

～せとか、紅まどんな等中晩かんきつ生産のトップランナー～  
野本 貢さん（松山市）

農業指導士 1951 年生まれ



☆経営概況☆

妻、長男と共にかんきつ 3.8ha（せとか 60a、紅まどんな 10a、不知火 35a、甘平 20a、伊予柑 255a）を栽培するとともに、研修生を受け入れ、後継者育成にも熱心に取り組んでいます。（パート収穫時 7 名 短期研修生 2 名）

しらぬい

☆ここがポイント☆

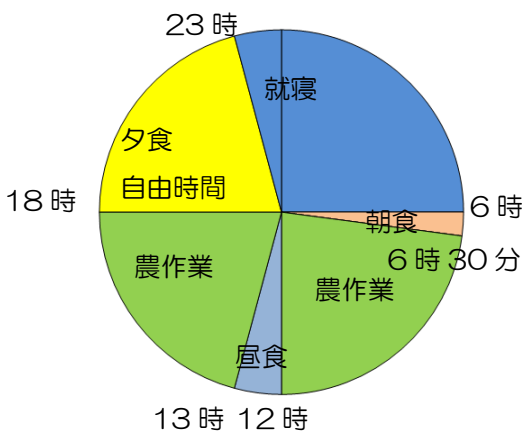
■高級中晩柑を施設で栽培し高所得！

宮内伊予柑が昭和 45 年前後からブームになり、平成 3 年のピーク時には 4ha の伊予柑で 2 千万円前後の売上げがありました。その後、品種は不知火へと替わり、現在は紅まどんな・せとか・甘平と品種が加わって、さらにいずれも**施設栽培をすると、より高い単価で売れる時代**で、自分はそれに併せて改植や施設整備等に取り組み、高所得を実現しています。

■最新の栽培技術や新品種を積極的に導入！

JA や県の試験場等と連携しながら、最新の栽培技術や新品種について積極的に現地試験やほ場調査に協力し、**自分の地域にあった栽培技術や新品種の導入等を積極的に進めています。**

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

農閑期や雨の時は、地域の共選役員の仲間と農業談義や年に一度は先進地の視察研修をしたり、誕生会を行うなど、家族ぐるみで付き合いをしています。

また、長年受け入れてきた研修生とは、年に一度交流会を持っていて、地域の後継者とともに 30 名ほどが集まり、農業への熱い思いに花を咲かせています。

趣味として今はまっているのは、ラーメンの食べ歩きに出かけることで、気の合う仲間と県内各地へ足を運んで楽しんでいます。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	常に何らかの作業しています					
【普段】		作業等			(休み)	



左：息子さん 右：研修生

☆これからの夢や目指すもの☆

■若い担い手を育てたい！

研修生を積極的に受け入れて、次世代の担い手を育成しています。マンツーマンで惜しみなく自分の技術を伝えることは、**自分の学びにもなり、よい刺激にもなっている**ので、これからも続けていきたいと思ひます。

☆メッセージ☆

■これからの農家は自分で販売する力を身につけよう！

今までは、良いものを作りさえすれば農協が高く売ってくれていました。しかし、これからはどうなるか分かりません。当然、農協には、もっともっと売る努力をして欲しいですが、農家も自分で**販売する力を身につけなければ生き残れない時代が来ている**と感じています。